

**「稲城市安全・安心まちづくり推進協議会」における
令和7年活動報告及び令和8年の活動について**

総務部総務契約課

<令和7年 活動報告について>

1. 安全・安心まちづくり推進協議会
⇒開催 3回（2月、6月、11月）

2. 市内一斉防犯パトロール

		7月	12月
実施日		雨天中止	令和7年12月17日（水）
参加者数			910人（前年773人）
延べ団体数			130団体（前年151団体）
配布	可燃ごみ袋		12枚
	不燃ごみ袋		3枚

3. 特殊詐欺被害防止に係る広報等

- 市広報やメール配信サービスによる注意喚起のほか、広報11月号に特殊詐欺被害防止チラシを折り込み、注意喚起を図った。
- 市役所1階ロビー行政情報モニターでの放映。
- 「iのまち いなぎ市民まつり」に、詐欺防止啓発のための行政テントを出店。警察官を騙る詐欺が若者向けに流行していることから、市独自で啓発チラシを作成し、多摩中央警察署、多摩稲城防犯協会と共に、来場者へチラシ等を配布。

4. 防犯対策事業

- 稲城市防犯機器等購入緊急補助金交付事業の実施
…個人向け防犯カメラ等の購入費用の1/2（上限2万円）を補助。
予算1,300件⇒実績708件。
- 稲城市防犯機能付電話機購入補助金交付事業の実施
…詐欺被害を防止する防犯機能付き電話機の購入費用の1/2（上限5千円）を補助。
予算20件⇒実績23件。

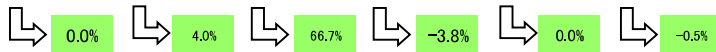
5. 共催及び後援事業

- 「いなぎキッズ青色防犯パトロール事業」（令和7年3月26日、27日）
⇒市内在住の未就学児又は小学生を青パトに乗車してもらい、多摩中央警察署署員による防犯についての講話や交通安全上の注意点等についてお話ししてもらいながら小学校区内周辺を中心にパトロールを実施し、子どもたちの防犯意識を高める事業で、多数の応募を受け、抽選で6組12名のお子さん及び保護者の方が参加。
- 「駅伝防犯パトロール」（令和7年5月6日）
⇒多摩稲城防犯協会稲城支部に対する後援事業で、雨天のため中止。

令和6年と令和7年の市内犯罪発生状況の比較

1 包括犯罪別（1月～12月）

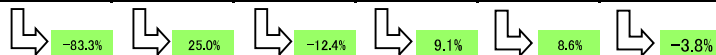
地区	凶悪犯		粗暴犯		侵入窃盗		非侵入窃盗		その他		合計		割合(%)		人口比(件)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
矢野口	1	0	7	8	1	0	55	46	19	13	83	67	21.4	17.36	4.64	3.71
東長沼	0	0	5	5	1	2	35	32	25	27	66	66	17.0	17.10	4.32	4.20
大丸	0	0	4	3	1	3	29	30	17	13	51	49	13.1	12.7	5.27	5.04
百村	0	1	3	2	2	1	7	14	8	7	20	25	5.20	6.48	3.69	4.62
坂浜	0	0	0	0	1	2	7	10	3	10	11	22	2.80	5.70	2.73	5.25
平尾	1	0	3	4	2	0	17	19	17	11	40	34	10.3	8.81	3.28	2.81
押立	0	1	0	1	1	0	11	5	2	4	14	11	3.60	2.85	2.79	2.15
向陽台	0	0	0	1	0	3	11	14	9	10	20	28	5.20	7.25	2.33	3.31
長峰	0	0	2	1	0	0	8	11	7	7	17	19	4.40	4.92	3.86	4.36
若葉台	0	0	1	1	0	4	58	48	7	12	66	65	17.00	16.84	5.79	5.79
合計	2	2	25	26	9	15	238	229	114	114	388	386	100.0	100.0	-	-



※人口比は1,000人当たりの認知件数

2 非侵入窃盗の手口別内訳（1月～12月）

地区	自動車盗		オートバイ盗		自転車盗		万引き		その他		合計		割合(%)	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
矢野口	1	1	2	2	27	24	5	8	20	11	55	46	23.1	20.1
東長沼	0	0	1	0	20	21	1	2	13	9	35	32	14.7	14.0
大丸	3	0	0	5	14	17	3	1	9	7	29	30	12.2	13.1
百村	1	0	0	0	2	4	1	2	3	8	7	14	2.9	6.1
坂浜	0	0	1	1	3	1	0	0	3	8	7	10	2.9	4.4
平尾	1	0	1	0	6	2	0	3	9	14	17	19	7.1	8.3
押立	0	0	2	1	4	1	3	2	2	1	11	5	4.6	2.2
向陽台	0	0	0	0	5	6	3	3	3	5	11	14	4.6	6.1
長峰	0	0	1	0	7	5	0	0	0	6	8	11	3.4	4.8
若葉台	0	0	0	1	33	25	17	15	8	7	58	48	24.4	21.0
合計	6	1	8	10	121	106	33	36	70	76	238	229	99.9	100.0



<令和7年 活動目標>

①刑法犯認知件数を前年比で10%減らす=目標達成: ×

(状況) 令和6年刑法犯認知件数: 388件 × (-10%) = 350件未満
⇒ 令和7年度件数: 386件であり、目標達成 ×。



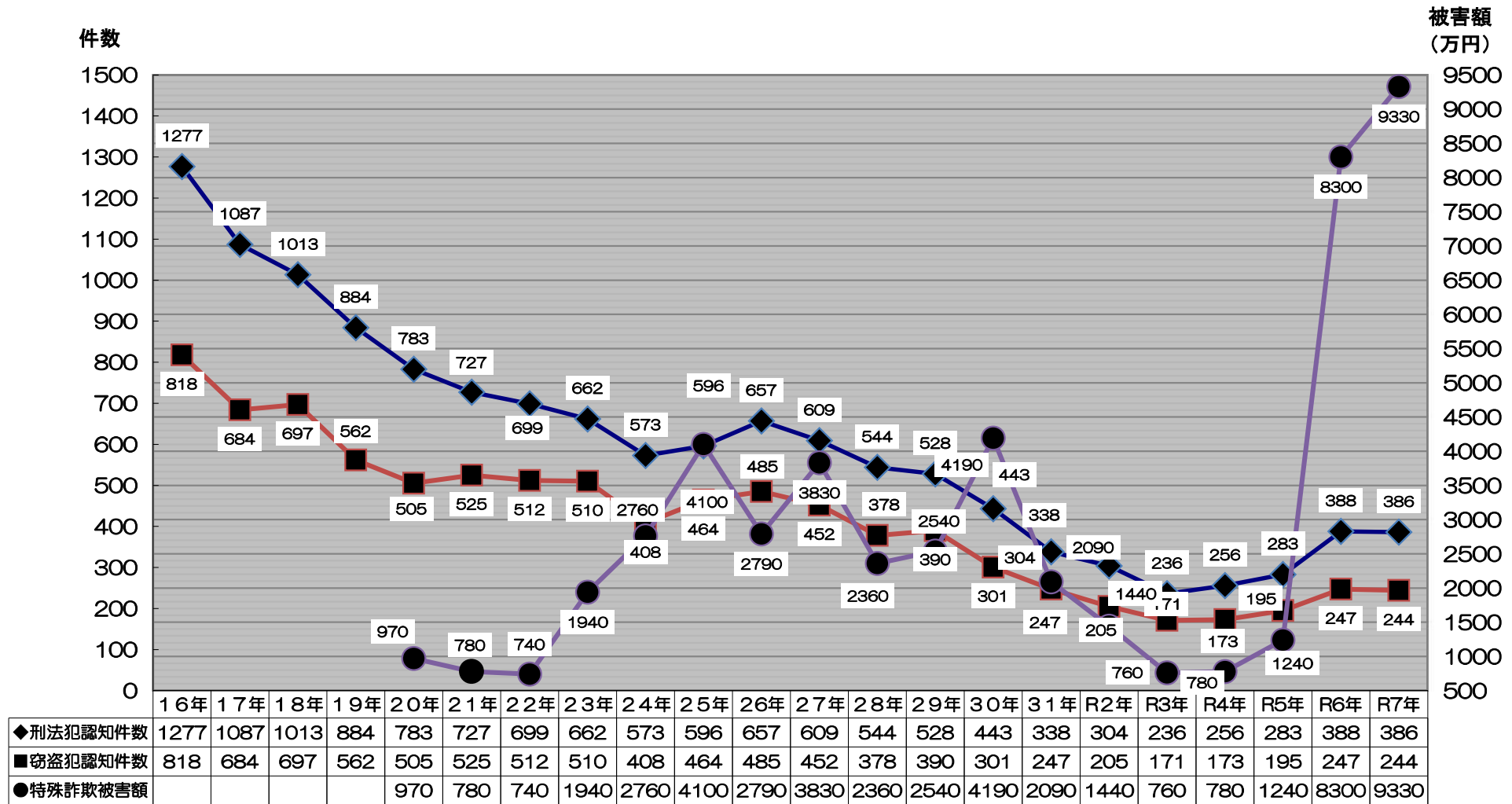
②特殊詐欺被害件数及び被害額を前年比で10%減らす=目標達成: ×

(状況) 令和6年被害件数: 16件(12か月) ⇒ 令和7年の被害件数: 24件、
令和6年被害額: 約8,300万円 ⇒ 令和7年被害額: 約9,330万円 であり、どちらも目標達成 ×。

③市内一斉防犯パトロールの参加者数を10%増やす=目標達成: ○

(状況) 令和6年(夏)803人、(冬)773人
令和7年(夏)中止、(冬)910人
⇒ R6(冬)773人 × 1.1 = 850人以上であり、目標達成 ○。

平成16年からの犯罪認知状況推移



※平成17年に安全・安心まちづくり推進協議会発足

全国・東京都との刑法犯認知件数比較

(1) 全国

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	2,562,767	126,824,166	20.21
令和6年	737,679	123,590,000	5.97
令和7年	774,142	122,950,000	6.30

(2) 東京都

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	283,326	12,074,598	23.46
令和6年	94,752	14,002,534	6.77
令和7年	98,188	14,000,890	7.01

(3) 稲城市

	刑法犯認知件数 (年間)	人口 (1月1日時点)	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	1,277	73,520	17.37
令和6年	388	93,916	4.13
令和7年	386	94,461	4.09

令和7年 都内刑法犯認知件数比較

※件数：令和7年12月末時点

刑法犯認知件数 比較		
順位	自治体名	件数
1	狛江市	354
2	稲城市	386
3	羽村市	421
4	国立市	431
5	あきる野市	448
6	福生市	449
7	清瀬市	477
8	武蔵村山市	503
9	東大和市	560
10	小金井市	600
11	国分寺市	649
12	青梅市	658
13	東久留米市	728
14	東村山市	751
15	昭島市	818
16	三鷹市	829
17	多摩市	843
18	日野市	942
19	小平市	1,040
20	西東京市	1,179
21	府中市	1,222
22	調布市	1,300
23	文京区	1,329
24	武蔵野市	1,353
25	目黒区	1,380
26	荒川区	1,451
27	立川市	1,690
28	墨田区	1,992
29	中野区	2,135
30	中央区	2,147
31	品川区	2,225
32	北区	2,442
33	杉並区	2,547
34	町田市	2,686
35	台東区	2,793
36	千代田区	2,965
37	八王子市	3,010
38	葛飾区	3,309
39	江東区	3,456
40	板橋区	3,492
41	港区	3,544
42	練馬区	3,672
43	豊島区	4,021
44	大田区	4,121
45	渋谷区	4,272
46	江戸川区	4,375
47	世田谷区	4,599
48	足立区	4,617
49	新宿区	6,977

1,000人当たり刑法犯認知件数 比較			
順位	自治体名	件数	人口
1	稲城市	4.09	94,461
2	狛江市	4.30	82,258
3	三鷹市	4.34	191,083
4	杉並区	4.37	582,636
5	府中市	4.66	262,162
6	小金井市	4.76	125,970
7	目黒区	4.88	282,607
8	練馬区	4.89	750,559
9	東村山市	4.94	152,136
10	世田谷区	4.95	928,666
11	日野市	4.98	189,194
12	国分寺市	4.99	130,076
13	青梅市	5.12	128,569
14	小平市	5.27	197,404
15	品川区	5.35	415,644
16	八王子市	5.39	558,755
16	調布市	5.39	241,074
18	大田区	5.53	745,048
19	文京区	5.61	236,981
20	国立市	5.64	76,460
21	多摩市	5.69	148,248
21	西東京市	5.69	207,227
23	あきる野市	5.70	78,559
24	板橋区	5.98	583,528
25	中野区	6.21	343,794
26	町田市	6.24	430,428
27	東久留米市	6.25	116,570
28	江戸川区	6.27	697,414
29	清瀬市	6.30	75,682
30	江東区	6.36	543,193
31	荒川区	6.46	224,784
32	足立区	6.56	703,369
33	東大和市	6.59	84,989
34	北区	6.65	367,432
35	墨田区	6.90	288,833
36	葛飾区	7.00	472,558
37	昭島市	7.05	116,049
38	武蔵村山市	7.13	70,564
39	羽村市	7.80	53,955
40	福生市	7.89	56,896
41	立川市	9.02	187,440
42	武蔵野市	9.14	147,958
43	中央区	11.24	191,015
44	台東区	12.84	217,512
45	港区	13.13	269,877
46	豊島区	13.58	296,129
47	渋谷区	18.50	230,880
48	新宿区	19.65	355,125
49	千代田区	42.88	69,139

[参考(前年)] 令和6年 稲城市状況
 件数 : 388件 (3位)
 1,000人当たり件数 : 4.13件 (2位)

※町村を除く

【令和7年 稲城市における特殊詐欺等の被害状況】

件数	被害額
24件	約9,330万円

詐欺の概要と被害額〔1～12月〕

日付	地区名	詐欺の概要
1月	向陽台	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、自宅に来た者に現金を手渡してしまったもの。
3月	平尾	【還付金詐欺】 市役所職員を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
3月	大丸	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、自宅に来た者に現金を手渡してしまったもの。
5月	東長沼	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
5月	向陽台	【架空請求料金詐欺】 ウイルスに感染したとの虚偽表示から、電子マネーカードを購入してしまったもの。
5月	平尾	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
6月	矢野口	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
6月	向陽台	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
6月	百村	【還付金詐欺】 市役所を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
6月	向陽台	【還付金詐欺】 市役所を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
7月	坂浜	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
8月	若葉台	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
8月	若葉台	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
8月	坂浜	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
9月	矢野口	【預貯金詐欺】 市役所を騙る者等から電話があり、自宅に来た者にキャッシュカードを渡してしまったもの。
9月	坂浜	【架空料金請求詐欺】 偽の広告サイトにアクセスし、お金を振り込んでしまったもの。
9月	東長沼	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
9月	百村	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
9月	坂浜	【還付金詐欺】 市役所を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
10月	矢野口	【架空料金請求詐欺】 ウイルスに感染したとの虚偽表示から、お金を振り込んでしまったもの。
10月	東長沼	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
10月	若葉台	【還付金詐欺】 市役所を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。
10月	大丸	【架空料金請求詐欺】 偽の広告サイトにアクセスし、お金を振り込んでしまったもの。
11月	坂浜	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者等から電話があり、お金を振り込んでしまったもの。

【オレオレ詐欺】14件、【還付金詐欺】5件、【架空料金請求詐欺】4件、【預貯金詐欺】1件

過去の被害状況〔1～12月〕

年	件数(件)	被害額(円)
H27	9	38,340,000
H28	9	23,602,000
H29	11	25,441,000
H30	19	41,860,000
R1	11	20,900,000

年	件数(件)	被害額(円)
R2	7	14,380,000
R3	9	7,600,000
R4	6	7,770,000
R5	10	12,390,000
R6	16	83,000,000

令和7年 都内特殊詐欺被害件数比較

※件数:令和7年12月末時点

被害件数 比較		
順位	自治体名	件数
1	福生市	16
2	青梅市	18
2	昭島市	18
2	小金井市	18
2	武蔵村山市	18
6	あきる野市	20
7	国分寺市	22
8	羽村市	23
9	稲城市	24
10	国立市	26
10	東大和市	26
12	東久留米市	30
13	千代田区	37
14	狛江市	39
15	清瀬市	40
16	多摩市	42
17	東村山市	47
18	中央区	48
19	西東京市	54
20	府中市	57
21	台東区	58
22	調布市	63
23	荒川区	67
24	小平市	74
25	立川市	75
26	武蔵野市	76
27	墨田区	77
28	目黒区	87
29	三鷹市	91
30	豊島区	93
31	日野市	94
32	文京区	96
33	港区	101
34	中野区	105
35	品川区	110
36	八王子市	111
37	渋谷区	115
38	江東区	121
39	新宿区	129
40	北区	135
41	葛飾区	136
42	杉並区	140
42	町田市	140
44	江戸川区	170
45	板橋区	172
46	足立区	185
47	大田区	196
48	練馬区	201
49	世田谷区	277

1,000人当たりの被害件数 比較			
順位	自治体名	件数	人口
1	青梅市	0.140	128,569
2	小金井市	0.143	125,970
3	昭島市	0.155	116,049
4	国分寺市	0.169	130,076
5	八王子市	0.199	558,755
6	府中市	0.217	262,162
7	江東区	0.223	543,193
8	杉並区	0.240	582,636
9	江戸川区	0.244	697,414
10	中央区	0.251	191,015
11	稲城市	0.254	94,461
12	武蔵村山市	0.255	70,564
12	あきる野市	0.255	78,559
14	東久留米市	0.257	116,570
15	調布市	0.261	241,074
15	西東京市	0.261	207,227
17	大田区	0.263	745,048
17	足立区	0.263	703,369
19	品川区	0.265	415,644
20	台東区	0.267	217,512
20	墨田区	0.267	288,833
22	練馬区	0.268	750,559
23	福生市	0.281	56,896
24	多摩市	0.283	148,248
25	葛飾区	0.288	472,558
26	板橋区	0.295	583,528
27	世田谷区	0.298	928,666
27	荒川区	0.298	224,784
29	中野区	0.305	343,794
30	東大和市	0.306	84,989
31	目黒区	0.308	282,607
32	東村山市	0.309	152,136
33	豊島区	0.314	296,129
34	町田市	0.325	430,428
35	国立市	0.340	76,460
36	新宿区	0.363	355,125
37	北区	0.367	367,432
38	港区	0.374	269,877
39	小平市	0.375	197,404
40	立川市	0.400	187,440
41	文京区	0.405	236,981
42	羽村市	0.426	53,955
43	狛江市	0.474	82,258
44	三鷹市	0.476	191,083
45	日野市	0.497	189,194
46	渋谷区	0.498	230,880
47	武蔵野市	0.514	147,958
48	清瀬市	0.529	75,682
49	千代田区	0.535	69,139

※町村を除く

「令和8年の活動について」

(1) 協議会の事業について

- ①年3回を基本に協議会を開催
- ②学校の夏休み前と年末に市内一斉防犯パトロールを実施
- ③「いなぎ市民まつり」等イベントでの啓発活動を実施
- ④駅伝防犯パトロールを実施（協力）
- ⑤子ども達を対象とした防犯事業として、「いなぎキッズ青色防犯パトロール（※）」を実施



(※)「いなぎキッズ青色防犯パトロール」

1. 目的

- ①子どもたちが主体となって防犯活動に関わることで、将来にわたって自らの地域の安全を守る意識を育てる。
- ②防犯に関する知識を学び、防犯の基本的な考え方や行動を身につけることで、地域全体の防犯意識を高める。

2. 事業概要

開催日時	令和8年3月24日(火)、25日(水) 各日とも午後1時30分～午後4時30分
対象・募集	市内在住の未就学児又は小学生（1組2名まで） ※未就学児の場合は、保護者同伴を必須とする。 ※6組（1組で約1時間、2日間×3組ずつ）で実施予定。
実施内容	・対象児童等を搭乗のうえ、通学（未就学児は通学予定）の小学校区内周辺を中心に、青色回転灯装備車でパトロールを行う。 ・その際、多摩中央警察署署員による最近の治安情勢や、日常生活における防犯対策（交通安全上の注意点なども含む）についてのお話をするこ とで、防犯に関する知識を学ぶ場とする。 ※児童が搭乗する場所（出発場所）は自宅を想定しているが、申込時に希望場所を確認する。
周知方法	広報いなぎ3/1号、市ウェブサイト
備考	・保険については、現行加入保険で対応（人身傷害：無制限）

「令和8年の活動について」

(2) 活動目標について

- 目標① 人口1,000人当たりの刑法犯認知件数を4.0以下にする。
- 目標② 特殊詐欺被害金額を0にする。
- 目標③ 防犯パトロールへの青少年参加を増やす。

①人口1,000人当たりの刑法犯認知件数を4.0以下にする。

刑法犯認知件数は、全国的に増加の一途をたどっており、その状況下であっても稲城市は件数を横ばいから減少傾向に抑えている。

その成果として、より数字で確認しやすい、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数で算出し、直近(令和7年)の4.09からさらに減少させ、4.0以下にすることを目指す。

②特殊詐欺被害金額を0にする。

市内における特殊詐欺被害について、(令和5年)10件・約1239万円、(令和6年)16件・約8300万円、(令和7年)24件・約9330万円と被害件数・被害額ともに年々増加し続けている状況である。

また、1件当たりの被害額の高額化も顕著であり、市としても警視庁多摩中央警察署と協力しているが、被害撲滅に至らない。

そこで、詐欺の被害者を生まないための取組みを推進していくことで、被害額を完全に0にすることを目指す。

③防犯パトロールへの青少年参加を増やす。

未来を担う青少年の防犯パトロール参加は、将来的な地域活動の継承や世代間の協力関係の構築につながる非常に重要な取り組みである。

青少年への安全意識の向上は、地域の安全・安心なまちづくりを構築するうえで必要不可欠であり、防犯パトロールへの青少年参加者数の増加を目指す。